



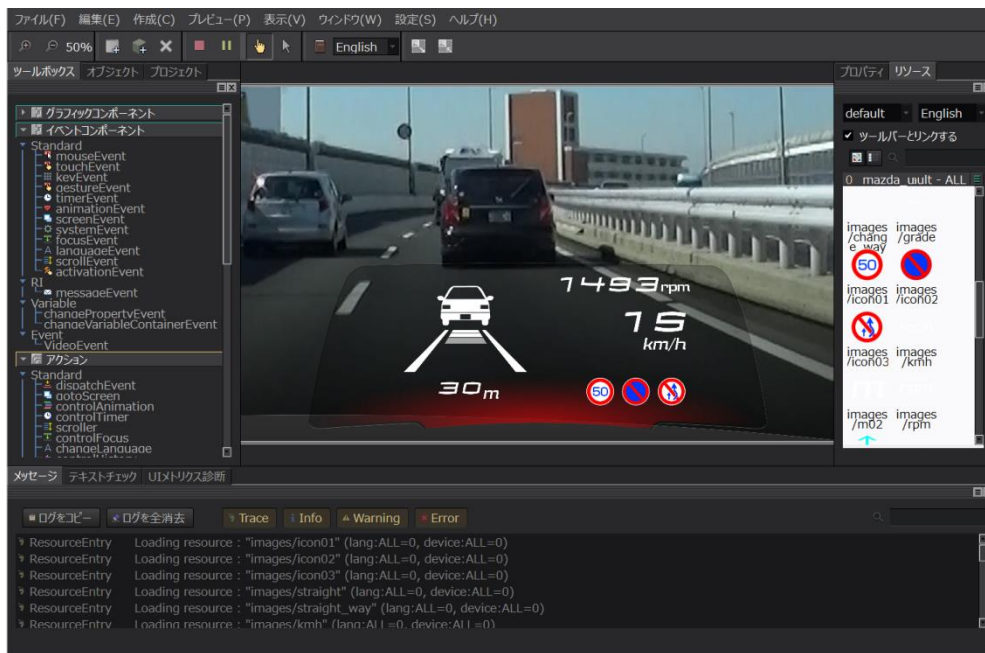
※本リリースは、株式会社 ZMP と株式会社エイチアイの共同リリースです。
各社から重複して配信される場合がありますが、ご了承くださいませようお願い申し上げます。

Press Release

2014年11月6日
株式会社 ZMP
株式会社エイチアイ

エイチアイの UI コンダクター、ZMP の車載データ送受信機「カートモ UP PRO」と連携

株式会社 ZMP(本社:東京都文京区、代表取締役社長:谷口 恒、以下、ZMP)と、株式会社エイチアイ(本社:東京都目黒区、代表取締役社長:川端 一生、以下、エイチアイ)は、ZMP の車載データ送受信機「カートモ[®] UP PRO」と PC 間で通信するためのライブラリをエイチアイの組込み UI オーサリングツール「UI コンダクター(exbeans[®] UI Conductor) (以下、UI コンダクター)」上で、使用することについて契約を締結し、共同でマーケティングを開始することに合意いたしましたので、お知らせします。



(プロトタイプ作成画面:イメージ)

従来、UI コンダクターで、メーターやヘッドアップディスプレイ(HUD)等のヒューマンマシンインターフェース(以下、HMI)のプロトタイプを作成する際、実際の自動車から CAN 情報の取り込みができず、仮想的なデータをもとにして作成をすることが余儀なくされておりました。

この度の協業により、「カートモ UP PRO」と UI コンダクター間の通信が可能になるため、実車の OBD II 端子から UI コンダクターへ速度や回転数をはじめとする CAN 情報のデータを容易に取り込むことができるようになり、UI コンダクターで作成した HMI へこれらのデータを反映させることが可能



ZMP カートモ UP PRO

となります。また、実験走行データをログとして保存し、あとで再生することができるため、スムーズな開発が可能となります。この連携によって、HMI のプロトタイプの開発段階で実際の自動車と同期した検証・確認の作業を行うことができ、より迅速に HMI のプロトタイプの改善を行えるため、一段と質の高い HMI の実現が可能になります。

ZMP は、研究開発や先行開発における実験システムの構築やテスト走行実験の代行を手掛けています。今回の両社の協業により、たとえば、本 UI コンダクターでいくつかの UI プロトタイプを作成し、テストコースなどで走行実験を行いユーザービリティの評価・検証するといったことが可能となります。

UI コンダクターの「カートモ UP PRO」との連携機能は、2014 年 11 月末よりサポート開始予定です。

【ZMP の車載データ送受信機「カートモ UP PRO」とは】 <http://www.zmp.co.jp/products/obd2>

ZMP は、自動運転や行動運転支援システムの開発支援や実験代行を行っています。研究開発や先行開発においては、車載データと開発中の機器やセンサとのデータの同期計測が必要です。ZMP の車載データ送受信機「カートモ UP PRO」は、2 チャンネルの CAN を同期取得し、Bluetooth または USB で PC に接続しデータの送受信が可能なデバイスです。

【エイチアイの UI コンダクターとは】 https://www.hicorp.co.jp/ja/prux_uic.html

UI コンダクターは、オーサリングツールで作成したデータをそのままランタイム(ミドルウェア)上で動作できるため、先行開発における UI/UX イメージをそのまま実環境で再現することが可能な UI 開発環境です。

ビジュアルデザインはもちろん、インタラクション、アニメーション、画面遷移、素材リソース管理、多言語切り替えなど UX を構成する重要な UI 要素をドラッグ&ドロップなどの直感的な操作で作成することができ、そのままオーサリングツール上ですぐにプレビュー確認・修正をすることが可能です。

加えて複数の言語、複数のデバイスに対応した UI を最小限の作業で作成できる機能や、仕様変更、デザイン変更が簡単に行える機能など、開発プロセスを効率化する機能が多数備わっております。

また、UI コンダクターは最新のプラグインアーキテクチャを採用しているため、外部モジュールへの拡張プラグインを容易に開発することができます。この拡張プラグインでは、CAN や各種センサー情報、カメラ情報の取込み機能などを開発することでオーサリングツール上での連携確認を通じた迅速な開発を実現することができ、独自の UI 開発プラットフォームとして効率のよい開発環境にカスタマイズすることができます。

UI コンダクターを通じて制作された先行開発のデータは、専用ビューアアプリケーションを通じて共有可能な『動く仕様書』として受け渡すことができるため、HMI のユーザー体験をそのまま量産開発に反映させていくことが可能となります。

* exbeans は、エイチアイの日本における登録商標です。

*その他の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

*CAN: コントローラエリアネットワーク(Controller Area Network)の略。自動車などの機械の内部で、電子回路や各装置を接続するためのネットワーク規格。自動車においては、速度、エンジンの回転数、ブレーキの状態、故障診断の情報などの転送に使用されている。

*GUI: グラフィカルユーザーインターフェース(Graphics Processing Unit)の略。PCやワークステーションにおいて画像処理を担当する主要な部品の一つをさす用語。

*HMI: ヒューマンマシンインターフェース(Human Machine Interface)の略。

人間と機械が情報をやり取りするための手段や、そのための装置やソフトウェアなどの総称。

*UI: ユーザーインターフェース(User Interface)の略。コンピュータを操作するときの画面表示、ウインドウ、メニューの言葉などの表現や操作感をさす用語。

*UX: ユーザーエクスペリエンス(User Experience)の略。ある製品やサービスを利用したり、消費した時に得られる体験や満足度など全体をさす用語。

【ZMPについて】 <http://www.zmp.co.jp/>

「Robot of Everything あらゆるものにロボット技術を応用し、安全で、楽しく便利なライフスタイルを創造する」というミッションのもと、「クルマの走る、曲がる、止まるを制御するプラットフォーム RoboCar®シリーズの販売」、「人間計測に加えクルマの計測、外界の計測、それら三位一体の計測を行い、人にも環境にも優しいクルマ作りの支援」、「ロボット技術を活用した実車ベンチマーク等の開発支援を行う RoboTest®ビジネス」を行っています。2001年1月文部科学省傘下の科学技術振興機構から技術移転を受け創業。日本ロボット学会実用化技術賞、経済産業省「今年のロボット大賞 最優秀中小・ベンチャー企業賞、中小企業基盤整備機構理事長賞」など数多くの賞を受賞。私たちはこれからも、ロボット技術とサービスで、イノベティブな製品を生み出してまいります。

*カートモ、RoboCar、RoboTest はZMPの登録商標です。

【エイチアイについて】 <http://www.hicorp.co.jp/>

エイチアイは、『デザイン&テクノロジー』をキーワードに、ソフトウェア開発だけでなく、UI/UXのデザイン・企画・コンサルティングをはじめ、HMI開発環境の開発・ライセンス販売・サポートに重点を置き、より質の高いデザインの表現を可能にするためのGUI開発環境や様々な製品提供を行っています。意匠デザインやHMIアプリケーション開発までの開発プロセス支援とソフトウェア品質向上支援により、他社との差別化を実現いたします。

エイチアイは、今後もさまざまなデジタル機器への技術提供を進めるとともに、人の生活を豊かにする製品の創造を目指し、研究開発を進めてまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社ZMP

営業部 西村 明浩

E-mail: nishimura@zmp.co.jp

〒112-0002 東京都文京区小石川 5-41-10 住友不動産小石川ビル

Tel:03-5802-6901 Fax:03-5802-6908

株式会社エイチアイ

管理部 広報・IR担当 福田富美子

E-mail: press@artspark.co.jp

〒153-0043 東京都目黒区東山 1-4-4 目黒東山ビル 5F

Tel:03-3710-2985 Fax:03-5773-8660